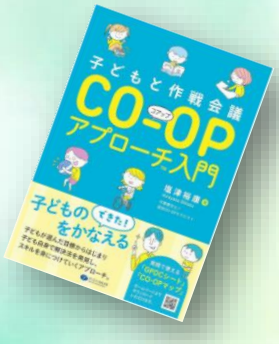
公益社団法人　大分県作業療法協会　発達分野研修会

CO-OPアプローチを用いた作業療法実践
～ 明日からの臨床現場に活かせる視点～

発達性協調運動症（DCD）は、
運動面の困難にとどまらず、自己効力感の低下や情緒面にも大きな影響を及ぼします。そのため、支援者には正しい理解と具体的な支援が求められています。本研修では、DCDの評価（アセスメント）から、CO-OPを用いた実践的な支援までを、分かりやすく学びます。

《日　時》2026.3.11　（水）
19:00～21:00
ZOOMによるWEB開催

《講　師》塩津 裕康 氏（作業療法士）



【講師紹介】
名古屋市立大学 医学部保健医療学科リハビリテーション専攻 講師
日本人初のICAN認定CO-OPセラピストであり「子どもの発達支援」、「学校作業療法」、「認知／問題解決アプローチ（CO-OP）」の第一人者
【主な著書】
『子どもと作戦会議 CO-OPアプローチ入門』
『子どもの「できた！」を支援するCO-OPアプローチ』
『子どもと作業療法中心の実践OCP 作業療法ガイドブック』
『すべての小中学校に「学校作業療法室」飛騨市の挑戦が未来を照らす』

≪参加費≫当協会会員・他県OT士会会員・他職種：1000円
当協会会員でない県内の作業療法士　:3000円
作業療法士養成校学生：無料

≪参加申込≫右のQRコードからお申し込みください

≪申込締切≫ 2026年3月8日（日）

≪キャンセル締め切り≫2026年3月10日（火）

≪連絡先≫E-mail:ooitaot@gmail.com（学術局 学術研修部 ）

※日本作業療法士協会生涯教育基礎ポイント 2ポイントが付与されます